

企画提案書作成要領

本要領は、企画提案書を一定の基準をもって審査するために記載を求める事項を示すものである。企画提案書の作成に当たっては、本要領及び「きくよう防災フェスタ2026企画運営業務 公募型プロポーザル実施要領 別表 評価項目及び配点等」を参考に作成すること。

1 表紙

「きくよう防災フェスタ2026企画運営業務 企画提案書」と題し、応募事業者名を記載すること。

2 内容

(1)会社概要

(2)作業スケジュール

仕様書を踏まえ、作業スケジュールを示すこと。

(3)業務の遂行体制

①本業務の遂行に係る体制、プロジェクト管理体制の概要(人員の配置、役割・責任分担等)

②(2)作業スケジュールを踏まえ、業務量と人員配置が十分であることの説明

③不測の事態でも対応可能な体制であるかの説明

例:予備人員の確保、作業調整の柔軟性等

(4)業務実績

①元請けとして受託した過去3年以内における類似業務受託の運用団体数

(代表する3自治体名と契約内容(防災啓発イベントや防災演習))

②アンケートを実施している場合、イベント前後の参加者の防災意識の変化の調査結果

(5)企画提案内容(様式は任意)

仕様書の業務内容についての提案を簡潔・明瞭に記述すること。

仕様書にない具体的・効果的かつ実現可能な提案があれば記載すること。

(6)その他

①防災フェスタ2025では下記の反省点があるため、解決策を含め提案すること

②上記以外で「きくよう防災フェスタ2026企画運営業務 公募型プロポーザル実施要領 別表 評価項目及び配点等」に則した説明事項

③その他事業を行うにあたって提案事項がある場合は金額を含み提案すること。なお、この提案については、評価対象としないが、内容により受託者選定後に採択する可能性がある。

3 見積書に関する事項について

(1)見積書は、仕様書に記載された全ての内容について見積金額及び内訳金額(税抜き)を記載すること。

(2)内訳金額は、業務内容の項目ごとに、人件費及びその他経費を記載すること。

(3)提出の様式は特に問わず、また枚数も自由とする。

4 防災フェスタ2025の反省点について

防災フェスタ2025の主な反省点を下記に記す

昨年のレイアウトは下記の通り

(1)車両の入り口は①のみにしていた。今年度も同様に①のみを想定している。キッチンカーや装備品展示に来場者が集まり、入退場する車と来場者間で事故が起こる可能性が大きかった。

(2)菊陽町は消防団員減少の課題を抱えている。団員募集の一環として屋外の②で放水体験をしていたが、来場者が期待した程集まらなかった。放水をする関係で②の場所は移せない。今年度も放水体験を実施予定であるため、入団希望者を増加することができる企画提案をすること。

(3)2階テラスの未活用

(4)交通整理を行う者が不足し、職員が担う部分があった。十分な人数を確保し、警備計画を立案すること。また、各コンテンツ等についても菊陽町職員を導入することが無いよう十分な人数を配置すること。

(参考)杉並木公園で行ったイベントの警備員配置数

夏祭り40名、県民の日34名、すぎなみフェスタ18名(夜間警備1名含む)

